

国税庁 酒類業振興関係予算 概略

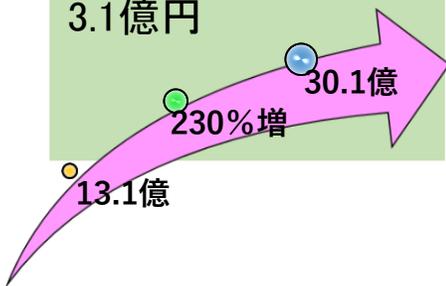
国税庁 酒類業振興関係予算より

2021. 2.9

株式会社ハートコンピューター

国税庁 酒類業振興関係予算

事業名 3次補正予算規模	概要	補助金額、補助率
国内向け施策 酒類業構造転換支援（フロンティア補助金）6.0億円	<ul style="list-style-type: none"> ・酒類事業者が抱える構造的課題の解決に向けた新規性・先進性のある取組を支援し、ポストコロナに向けた酒類事業者の経営改革、酒類業界の構造転換を促進 ・補助対象者：酒類事業者（製造業者、卸売業者、小売業者）又は酒類事業者を一者以上含むグループ ・補助対象経費（例）：設計・デザイン料、施設整備費、機械装置・システム構築費等 	500万円、1/2
海外販路拡大に向けた取組4.0億円	<p>本年12月に策定予定の「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」に基づく酒類の輸出促進、及び酒類事業者の経営改革、酒類業界の構造転換を図り、地域に根ざした酒類事業者による取組の活性化、生産性の向上、日本の食文化の保存・活用体制の整備などにより、地方への人の流れが促されることで、民需主導の好循環を実現する。</p>	
認知度向上等に向けた取組 3.1億円	<p>○ 日本産酒類の輸出促進には、商品等の高付加価値化や、認知度向上に向けた取組が重要。○ そのための有効なツールとしブランド化及び酒蔵ツーリズムを推進。</p> <p>補助対象者：酒類事業者（製造業者、卸売業者、小売業者）又は酒類事業者を一者以上含むグループ</p> <p>補助対象経費（例）：謝金、通訳・翻訳費、資料購入費、展示会等出展費等</p>	1000万円、1/2

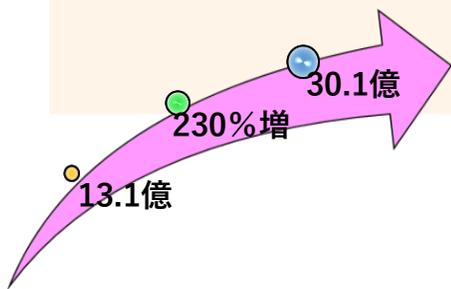


国内向け施策 酒類業構造転換支援 (フロンティア補助金) 6.0億円～500万円、1/2

- 酒類業は、国内需要の減少や酒類事業従事者の減少・高年齢化等の構造的課題に直面。
- これらの構造的課題に対応するため、酒類事業者の経営改革、酒類業の構造転換の促進が必要。

→事業再構築補助金と性格が近いので、自社の強みや経営資源（ヒト/モノ等）を活かしつつ、経産省が示す「事業再構築指針」に沿った事業計画を認定支援機関等と策定した方が望ましい

要件	手段	成果（KPI）
ア 商品の差別化による新たなニーズの獲得	新商品の調査・設計・開発	新商品の売上金額 新規取引先の数
イ 販売手法の多様化による新たなニーズの獲得	新たな販売チャネルの調査・設計・開発	チャネル経由のコンタクト数 チャネル経由の売上数量、金額
ウ ICT技術を活用した、製造・流通の高度化・効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・製造と営業をICTで結ぶ ・販売側と荷受側をICTで結ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・製造と営業間のICTの活用量。 →ミス手直しの削減時間 ・販売側と荷受側の連絡コスト、確認時間の削減



日本産酒類海外展開支援事業費補助金（案） （ブランド化・ツーリズム補助金） ～1000万円、1/2

- 日本産酒類の輸出促進には、商品等の高付加価値化や、認知度向上に向けた取組が重要。
- そのための有効なツールとしブランド化及び酒蔵ツーリズムを推進。

→[事業再構築補助金](#)と性格が近いので、自社の強みや経営資源（ヒト/モノ等）を活かしつつ、経産省が示す「事業再構築指針」に沿った事業計画を認定支援機関等と策定した方が望ましい

要件	手段	成果（KPI）
①商品の高付加価値化やブランド戦略策定	<ul style="list-style-type: none">・ アピールの仕方を新しくする・ お酒から派生する事と結びつける	<ul style="list-style-type: none">新商品の売上金額新規取引先の数
②酒蔵ツーリズムプラン策定、他産業との連携に係る取組	<ul style="list-style-type: none">・ ツーリズムの調査・設計・実効・ 他産業の連携の調査・設計・実効	<ul style="list-style-type: none">・ ツーリズムの回数、参加者数・ 他業種との検討数、連携数